

9月9日は救急の日

# 知って おきたい 救急のこと



## 大館市の救急の現状

私たちの命を守る救急隊は、隊員数二十二名、三台の救急車で救急活動にあたっています。その活動区域は大館市、比内町、田代町と広範囲にわたります。三人一チームで編成され、一チームが二十四時間勤務体制で緊急の事態に備えています。

大館市で平成九年中に救急車が出勤した回数は千二百八十九回、搬送された人数は千二百五十七人

で、一日平均では三・五回でした。搬送された千二百五十七人のうち軽症（入院を必要としないもの）が六百三十九人、中等症（重症または軽症以外のもの）が二百六十八人、重症（三週間以上入院を必要とするもの）が二百九十八人、死亡五十一人、その他一人です。

また、搬送された患者のうち、六十五歳以上のかたは五百七十九人で、全体の四六パーセントを占めています。高齢化社会に伴い、六十五歳以上のかたの搬送された人数が年々増加しています。

さらに、大館広域消防本部では、今年の三月二十五日から、たくさんの医療器具が装備された高規格救急車の導入に合わせ、救命救急士を養成しています。そして現在、三人の救命救急士が現場で活躍し

## 救急のこと

ています。救急救命士は、呼吸停止または心臓停止の患者に限って、医師の指示のもとで特定の医療行為ができます。病院への搬送の途中、救急車内と病院を結ぶ無線で患者の状態や血圧、心電図の情報を医師に送り、医師の指示を受けることで

- ・心室細動（心臓の筋肉が無秩序に縮むこと）を除くための電気ショック
- ・静脈路を確保するための点滴
- ・器具を使った気道確保
- などの医療行為を行うことができます。

### 119番通報は

#### あわてず正確に

119番通報の善しあしで、救急車の到着時間、救急隊の対応の早さが違ってきます。救急活動は、119番通報のときから始まっています。

### 通報時の注意

- ① 患者のいる住所とわかりやすい目標を知らせる。
  - ② どうしてけがをしたか、またはどんな状態で発病したかを話す。
  - ③ 今、どんな状態であるか、見たままの状態を簡単に話す。あとは係員の質問にはつきり答える。
  - ④ けが人の数も忘れずに話す。
  - ⑤ サイレンが聞こえたら、できるだけ案内人が外に出て救急車を誘導する。
- ※携帯電話からの通報では必ずしも地元の消防本部につながるとは限りませんので、必ず市町村名をお知らせください。



### 応急手当の重要性

通報を受けて救急車が現場に到着するまでの全国平均時間は約六分です。しかし、脳が酸素なしで生きられる時間は三分から四分といわれています。